全員協議会

老健施設の設計図できる

大木参与より、老健施設の建物の完成予定の設計図について説明がありました。

織物館研修生受入れ

オイスカ海外研修生としてマレーシア国籍のデイリーさん(21才・女性)を今月初めに受け入れて、織物館で研修中であります。研修期間は入国から1年間。宿舎は愛宕の住宅であります。

研修生　デイリーさん(マレーシア)

建設中止か？保養センター（県共済連）

共済連保養施設について、野村町に建設をしたい旨の報告が3月にあったのを受けて、4月18、議長・農協組合長・町長で県農協中央会へお礼に行った(会長・専務・参事同席)その際の話によると、町が主体で建設をするのであれば、補助か出資(額は未定)することもできるが、共済連としては建設する計画はない。と話の内容が180度転換した。町主体で建設するよう計画を練ってみたい。

あけぼの団地分譲受付け迫る評価はフランク

価格については坪当り6万5千円から8万5千円とし、若者定住分については6万円とする。

1区画に重複応募があった場合の抽選は、オープン方式としたい。(町内に居住している者、真に住宅に困っている者を優先すべきではないか等の意見もありました。)

2期工事は、1期分(31区画)の分譲見通しがついた時点で許認可の申請をする予定であります。

雹による被害対策

5月22日の降雹による被害は葉たばこが84.3ha、被害額3億2千万円余りであり、全損農家が14戸ある。6月13日と14日に再調査を行う。

野菜は、きゅうり・なす・ピーマンで3.9ha、被害額は250万円余りであるが、野菜の被害額は苗代換算分である。

6月17日に被害対策会議を開いて、対応策を検討する予定にしています。

農業集落排水総合対策計画

農業集落排水処理区として町内の20箇所を計画している。

平成9年度に事業計画、平成10年度以降事業実施を予定しており、まず1～2箇所をモデル地区として実施したい。

町中(木落部落を含む)は、公共下水で実施いたします。

分譲地　あけぼの団地

JRバス2路線廃止か？

栗木↓三石橋・荷刺↓榎線の2路線については、年々乗車密度が下がっているので、今年10月1日から路線廃止をしたい旨、JRより話があった。町としても対応策が必要であります。

ダム操作基準の改正

6月11日に開催された建設省及び県の説明会の後、再三に亘って県から意見を求められた。早急なことでもあったので、6月14日県に対して了承の回答をしました。

この件に関して、石久保から荷刺間の河川の改修を要望し、県の了解を得た。また町独自でダム下流に定点を設け水位の観測(測定)をしてはどうか検討しております。

地域特産品開発推進

平成7年度事業で取り組んできた、地域特産品開発推進マーケッティング調査について調査を委託していた、㈱電源地域振興センターから調査結果の報告があり、その結果乳製品の開発主力商品としては、ヨーグルト・アイスクリームが有望であります。

販売促進計画としては、ハード・ソフト面にわたる取り組みが必要であります。

破砕・圧縮施設の運用計画

ビン・缶類の処理を現行のまま続けると、道野々の不燃物処理場は平成19年には満杯となります。

ビン・缶類を破砕・圧縮処理をすることにより年間245㎥が再生可能となり、不燃物処理場も平成26年まで使用可能となります。

収集・管理賃金として、年間450万円(概算)位になるのではないかと考えられます。